

短期集中研修「多変量生存時間解析コース」の報告

2023年10月20, 21日, 11月3, 4日の合計4日間, 統計数理研究所で, 第一回目の短期集中研修「多変量生存時間解析コース」を開催しました. 医療健康データ科学研究センター主催の下, 同センターの江村剛志教授が企画を行い, 講師を務めました.

選抜試験・事前課題を経て選抜された11名の受講生は, 10月20日に受講を開始し, 最終日まで行われた全ての講義を受けました. また, クイズ・課題・レポートを完遂しました.

選抜試験に選ばれた受講者11名は研修前の課題に加え, 研修後の最終レポート(研究論文)を11月末に提出しました. コース中の成績と論文の質が基準を上回り, 11名全員が研修の目標を達成したため, 全員に修了証を授与しました(写真は一部の方のみ).



研修修了者と最終レポート（研究論文）のテーマ（一部のみ）

- 及川翔矢「種類の統計的手法による代替性の検証の解説と考察」
- 山本悠人「治療群のケンドール順位相関が対照群のそれより大きい値をとる現象についての検証」
- 寺西蓮「進行・再発 胃がんにおける PFS の OS に対する代替性の検証」
- 小山田隼佑「クラスターランダム化試験の生存時間データに対する共有フレイルティモデルの有用性：Ghana bednet 試験の二次解析」
- 椎葉洋之「慢性肉芽腫症を対象とした臨床試験における施設間不均一性の検証」
- 田村菜穂美「論文（生存時間変数に対する代替性評価 -メタアナリシスアプローチ-）について；」
- 浮田翔子「GSTRIC 研究の根治術後胃がんデータに対して複数種モデルにより推定したケンドール順位相関係数と決定係数の再現」
- 武富奈菜美「造血幹細胞移植を受けた患者における急性 GVHD 発症に対する死亡の代替性の検証」
- 持丸瑛梨「混合ポアソン・アプローチと 2 段階コピュラ・アプローチの比較」